

コニカミノルタ株式会社  
2015年度第3四半期

# 決算概要

---

2016年 1月28日

常務執行役 大須賀 健

- 本資料の記載情報

本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

- 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。

## 2015年度3Q決算のポイント

売上高は、主力製品の販売増、M&A効果、対ドル円安影響、等で増収。  
営業利益は、3Q対ユーロで+10円高の影響大きく、減益幅広がる。

売上高： 7,623億円（前年比 +343億円/ +5%増収）

営業利益： 416億円（前年比 △55億円/△12%減益）

- ✓ 情報機器は、ハイブリッド型販売や高セグシフトなど高付加価値化を推進、パイプライン積み上がるもクロージングが期ずれし、新製品効果発現に遅れ。
- ✓ ヘルスケアは、国内外での主力製品販売増で増収増益、順調な進捗。
- ✓ 産業用材料・機器は、機能材料販売減等で減収減益も、概ね想定通りの進捗。
- ✓ コーポレート部門は、上期での構造改革実施等により前年比費用増。

四半期利益： 265億円（前年比 △34億円/△11%減益）  
（親会社の所有者に帰属する当期利益）

# 全社 YoY 四半期業績推移

	売上高			営業利益		
	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q
実績	2,486億円	2,586億円	2,551億円	100億円	182億円	134億円
前年比	220億円	108億円	15億円	△44億円	17億円	△29億円
為替影響	136億円	137億円	△27億円	△12億円	△7億円	△38億円
実質増減	84億円	△29億円	42億円	△32億円	24億円	9億円

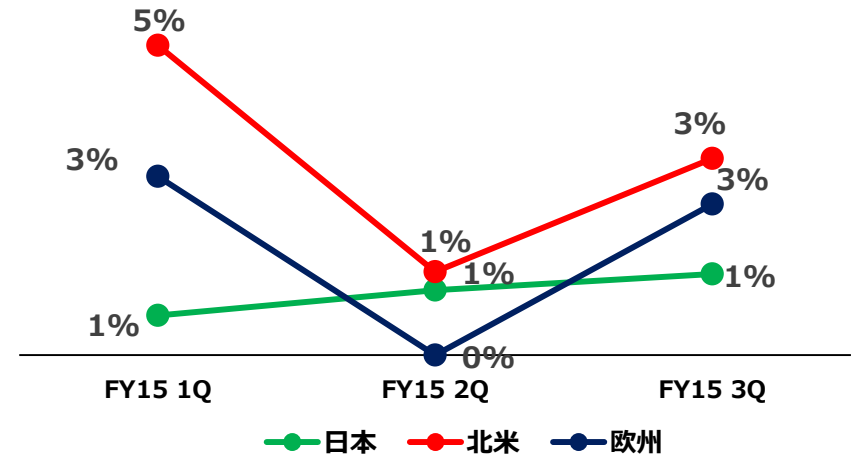
- 2Qまでは対ドルが前年比+18~19円の円安で名目の売上を押し上げるも、3Qは対ユーロ円高が進行し押し下げ要因となる。
- 売上高は為替影響を除く実質ベースでは2Q減収から3Q増収に、モメンタムは転換。
- 営業利益も実質ベースでは3Q小幅増益。
- 情報機器も全社と同様の傾向。ヘルスケアはデジタル比率上昇し業績復調。

# 情報機器事業 YoY 四半期業績推移

	売上高			営業利益		
	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q
実績	2,018億円	2,074億円	2,069億円	133億円	211億円	165億円
前年比	221億円	101億円	2億円	3億円	31億円	△27億円
為替影響	118億円	119億円	△29億円	△12億円	△7億円	△35億円
実質増減	103億円	△18億円	31億円	15億円	38億円	8億円

- 北米中心に競合価格攻勢続く中、日米欧での売上は現地通貨ベースで小幅ながら増収維持。2Q比ではモメンタムも改善。
- 営業利益は、オフィス新製品効果の発現遅れ、実質小幅増益に留まる。

日米欧販社の現地通貨ベース売上伸長率推移

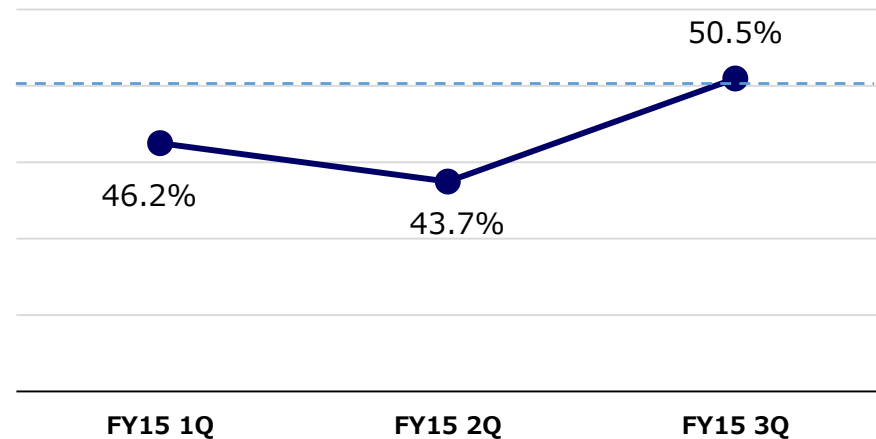


# ヘルスケア事業 YoY 四半期業績推移

	売上高			営業利益		
	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q
実績	179億円	224億円	220億円	1億円	14億円	8億円
前年比	18億円	20億円	32億円	0億円	2億円	6億円
為替影響	10億円	10億円	2億円	4億円	3億円	△1億円
実質増減	8億円	10億円	30億円	△3億円	△0億円	7億円

- 売上は毎四半期増収基調、順調な進捗。
- 海外はDR, 国内は超音波機器が牽引してデジタルが伸び、3Qはデジタル比率50%超。
- 営業利益も3Qは実質ベースで増益に転ず。デジタル製品販売増とそれに伴う保守契約件数増が寄与。

売上のデジタル化比率推移



## オフィスサービス

- 新製品（次世代エンジン）効果の最大化
- 利益重視、付加価値型販売の方針維持
  - ✓ 高PV顧客ターゲットに高セグメント機の販売強化
  - ✓ ハイブリッド販売の加速、MIF・PV拡大
  - ✓ 従来型ビジネスの更なる筋肉質化
- 地域別戦略
  - ✓ 国内：ジャンルトップバリューの付加価値型アプローチで商談獲得率向上
  - ✓ 北米：高セグメント機の販売強化
  - ✓ 欧州：新製品を最大活用し、販売拡大

## 商業・ 産業印刷

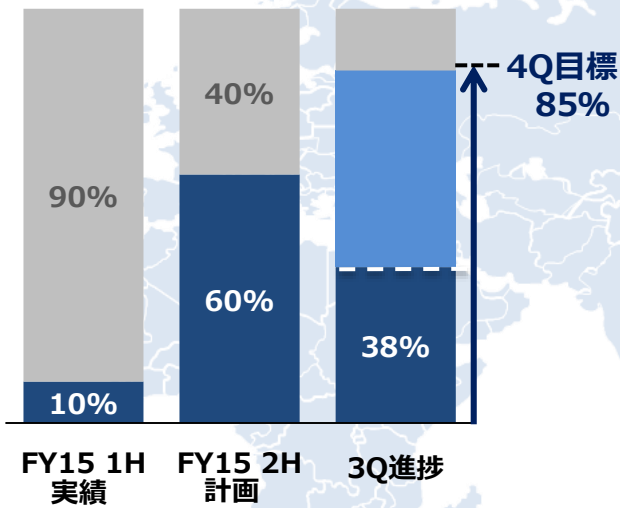
- 販売好調なMPP旗艦機「bizhub PRESS C1100」の更なる拡販
- 高PVが見込まれる大手商業印刷顧客へアプローチ強化

# オフィスサービス分野：A3カラー新製品シフトの進捗状況

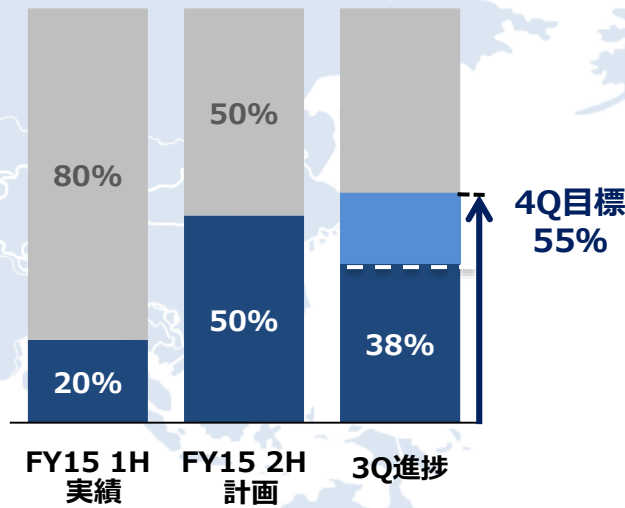
- 欧州は販売台数全体は計画通り。4Qでの新製品本格シフトにより収益最大化。
- 日米は、販売台数全体が弱含みの進捗。4Qでのキャッチアップに全力である。

## 新製品構成比率

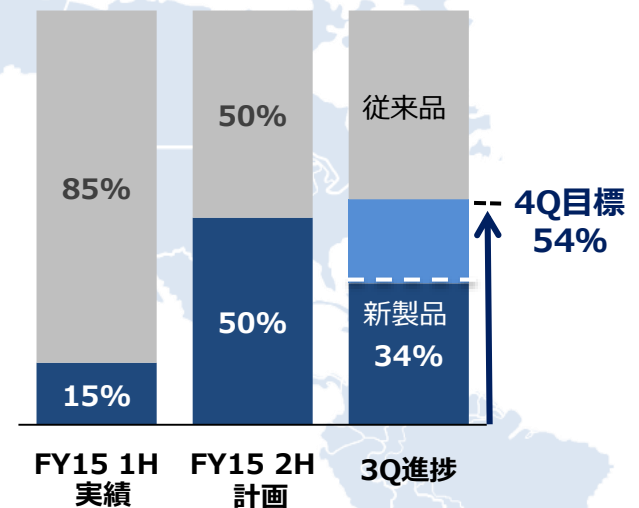
### 欧州



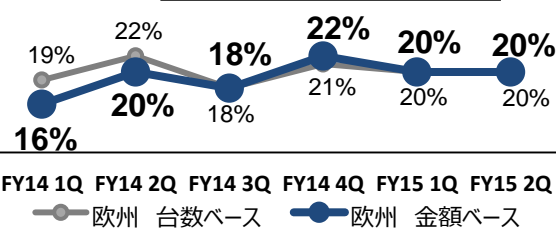
### 国内



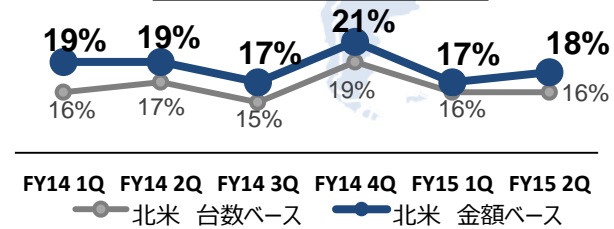
### 北米



### A3 カラー-MFP シェア 欧州



### A3 カラー-MFP シェア 北米

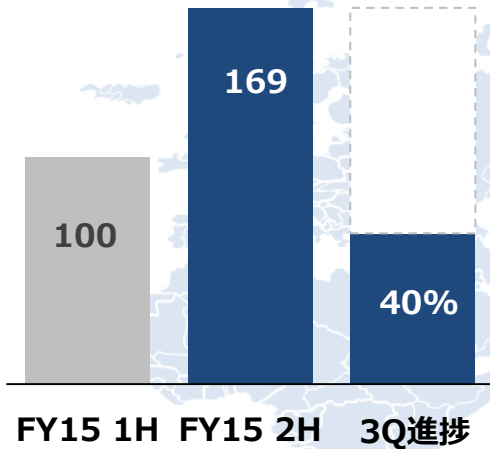




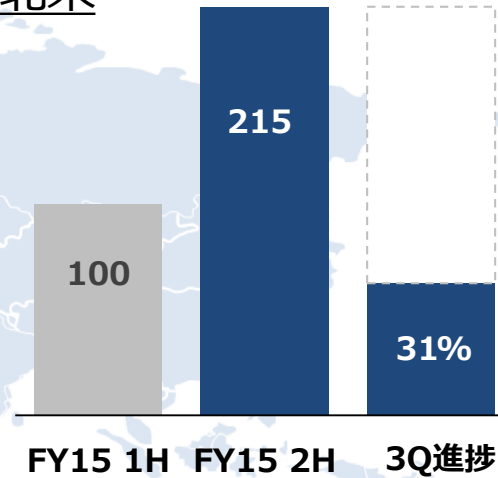
# 商業・産業印刷分野：C1100シリーズ拡販の進捗状況

- 欧州は順調な3Q進捗を踏まえ、4Qでの更なる上積みを狙う。
- 北米は3Qやや計画下振れも、4Qでのキャッチアップに全力をあげる。
- 欧米ではMPPセグメントでトップシェア。

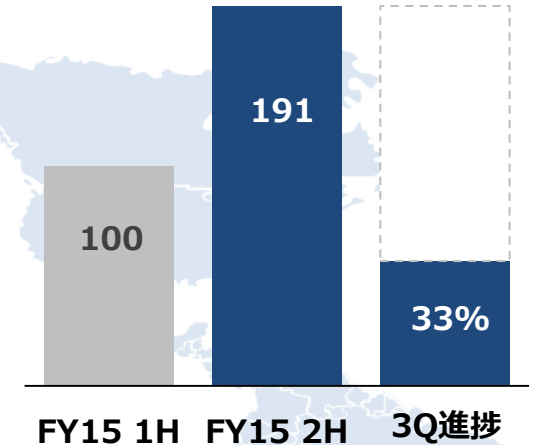
## 欧州



## 北米

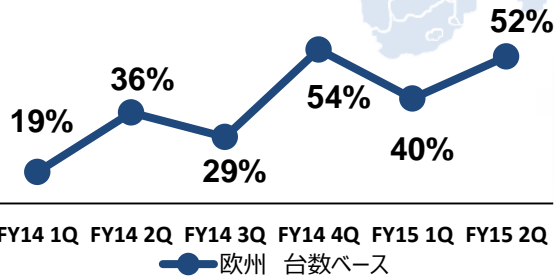


## ワールドワイド

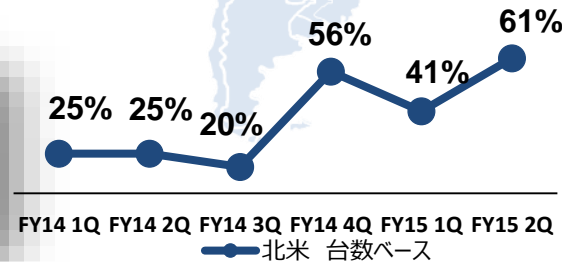


\* 2015年度上期販売台数を100とした場合の指数

PPカラー MPPシェア 欧州



PPカラー MPPシェア 北米



bizhub PRESS C1100シリーズ

MPP (Mid Production Printer) : 中速プロダクション機

## 2015年度下期のポイント：情報機器以外の事業

### ヘルスケア

- 国内：DRと保守サービスで収益拡大、超音波は整形でフルスイング
- 北米：DR拡販とViztek社買収による販売拡大

### 計測機器

- 大口ディスプレイ顧客、自動車、IT大手顧客の獲得
- 当社、IS社の新製品による販売拡大
- Radiant社との連携による製造検査ソリューション拡大

### 機能材料

- 耐水タイプ新型VA-TACは、順次顧客認定を取得中、下期より本格量産開始
- 20 $\mu$ 超薄膜、QWPなど新製品群で領域拡大を加速

事業間の強弱感は認識しつつ、全社・セグメント別とも前回予想を据え置く。  
情報機器・ヘルスケアの新製品拡販中心に、公表値達成に粘り強く取り組む。

<前回予想：2015年10月29日公表>

売上高： 1兆800億円（前年比 +8%増収）

営業利益： 730億円（前年比 +11%増益）

当期利益： 470億円（前年比 +15%増益）  
(親会社の所有者に帰属する当期利益)

※4Q為替前提：ドル=120円、ユーロ=135円

- ✓ ROE： 9.5%
- ✓ 配当予想：30円/1株（前年比 10円/1株増配）は据え置く。  
※中間・期末配当：各15円/1株（前年：中間・期末配当各10円/1株）

### 投資指標

#### 健康経営銘柄：制度初年度より2年連続で選定。

- 経済産業省と東京証券取引所の共同の取り組み。東証上場企業の中からコニカミノルタを含む25社が選定。
- 当社の健康経営は、確固とした理念と体制の下、データ管理とPDCAを基礎に置くマネジメントシステムを特長とし、近年はメンタルヘルス対策にも取り組む。

### 経営度評価

#### 環境経営度調査：2年連続で製造業総合ランキング1位

- 省エネ・省資源などの環境の取り組みを、CO2削減のみならず、生産コストや使用原材料の削減につながる、事業競争力強化に欠かせない大切な活動としてグローバルに推進。
- 効果的な自社実践事例や環境技術・ノウハウをお客さまや資本関係のないお取引先（サプライヤー）にも積極的に提供



KONICA MINOLTA

# 2015年度3Q決算概要

# 2015年度3Q 全社業績要約

	15年度 3Q 累計	14年度 3Q 累計	YoY	15年度 3Q	14年度 3Q	YoY	【億円】
売上高	7,623	7,280	5%	2,551	2,536	1%	
売上総利益	3,669	3,579	3%	1,227	1,247	-2%	
(売上総利益率)	48.1%	49.2%	-	48.1%	49.2%		
営業利益	416	471	-12%	134	163	-18%	
(営業利益率)	5.5%	6.5%	-	5.2%	6.4%	-	
税引前利益	405	487	-17%	132	169	-22%	
(税引前利益率)	5.3%	6.7%	-	5.2%	6.7%	-	
親会社の所有者に帰属する当期利益	265	299	-11%	92	104	-12%	
(親会社の所有者に帰属する当期利益率)	3.5%	4.1%	-	3.6%	4.1%	-	
F C F	△ 464	273		△ 60	114		
為替レート [円] USD	121.70	106.87	14.83	121.50	114.54	6.96	
euro	134.36	140.30	△ 5.94	132.95	143.07	△ 10.12	

# 2015年度3Q セグメント別売上高・営業利益

売上高	15年度 3Q累計		14年度 3Q累計		YoY	15年度 3Q		14年度 3Q		YoY	【億円】
情報機器	6,161		5,838		6%	2,069		2,067		0%	
オフィスサービス	4,506		4,340		4%	1,505		1,512		0%	
商業・産業印刷	1,655		1,497		11%	564		554		2%	
ヘルスケア	622		552		13%	220		188		17%	
産業用材料・機器	817		870		-6%	255		275		-7%	
産業用光学システム	399		401		0%	128		127		1%	
機能材料	418		468		-11%	126		147		-14%	
その他	23		21		-	8		7		-	
グループ全体	7,623		7,280		5%	2,551		2,536		1%	
<b>営業利益 (右側：営業利益率)</b>	15年度 3Q累計		14年度 3Q累計		YoY	15年度 3Q		14年度 3Q		YoY	
情報機器	509	8.3%	501	8.6%	2%	165	8.0%	192	9.3%	-14%	
ヘルスケア	23	3.7%	14	2.6%	58%	8	3.6%	2	1.2%	243%	
産業用材料・機器	133	16.3%	171	19.7%	-22%	28	11.1%	40	14.7%	-30%	
コーポレート他・消去	△ 249		△ 216		-	△ 68		△ 72		-	
グループ全体	416	5.5%	471	6.5%	-12%	134	5.2%	163	6.4%	-18%	

# 情報機器事業総括：3Q累計

## □ 3Q累計売上高： 6,161億円（前年比 +6%）

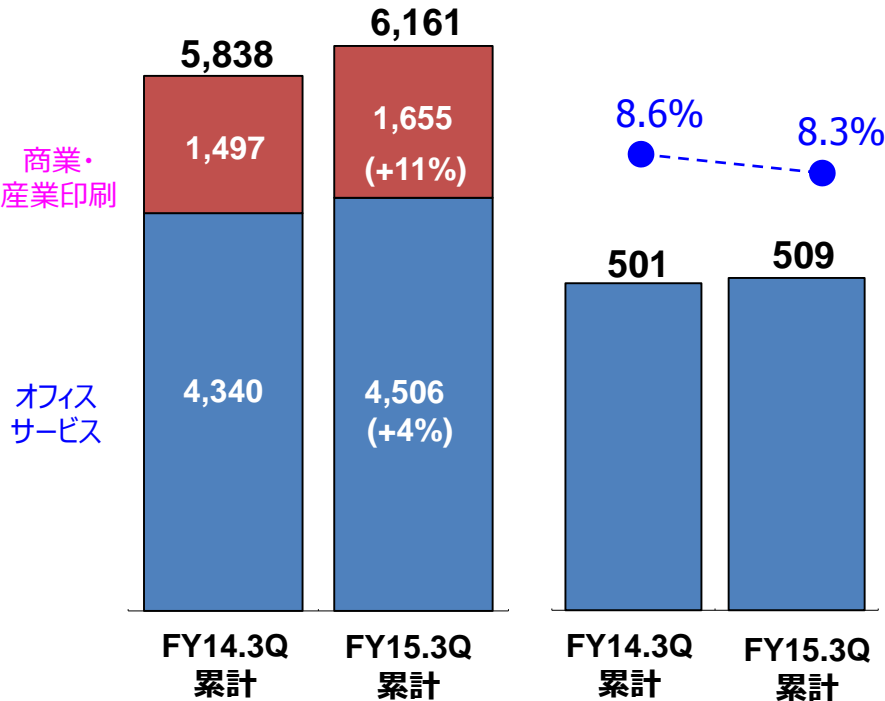
➤ オフィスサービス分野の新製品、商業・産業印刷分野のカラー旗艦機が牽引し増収。

## □ 3Q累計営業利益： 509億円（前年比 +2%）

➤ 損益影響が大きい対ユーロでの円高が当期間後半に急伸し、小幅増益に留まる。

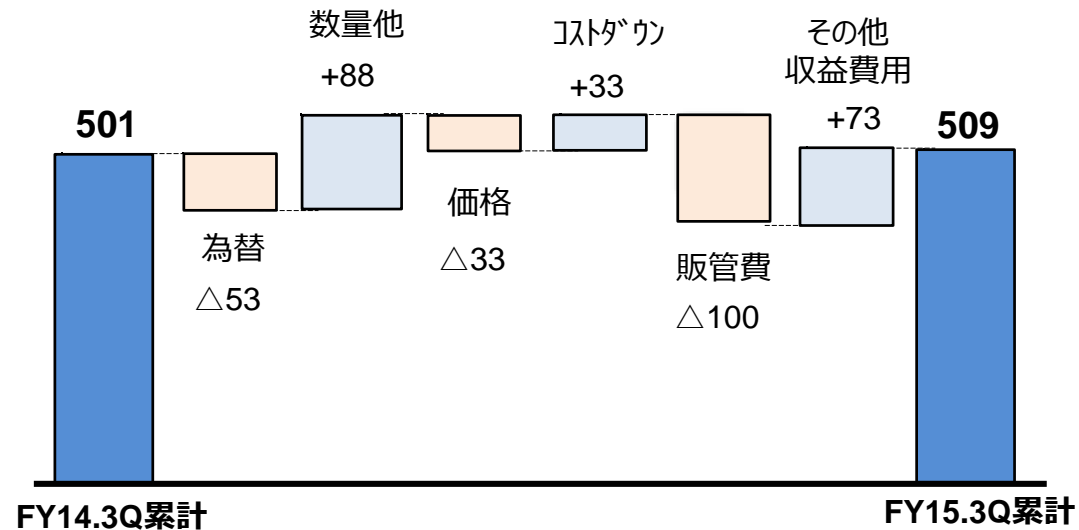
売上高/営業利益 対前年増減

左：売上高 右：営業利益 - 営業利益率 【億円】



営業利益 対前年増減分析

【億円】





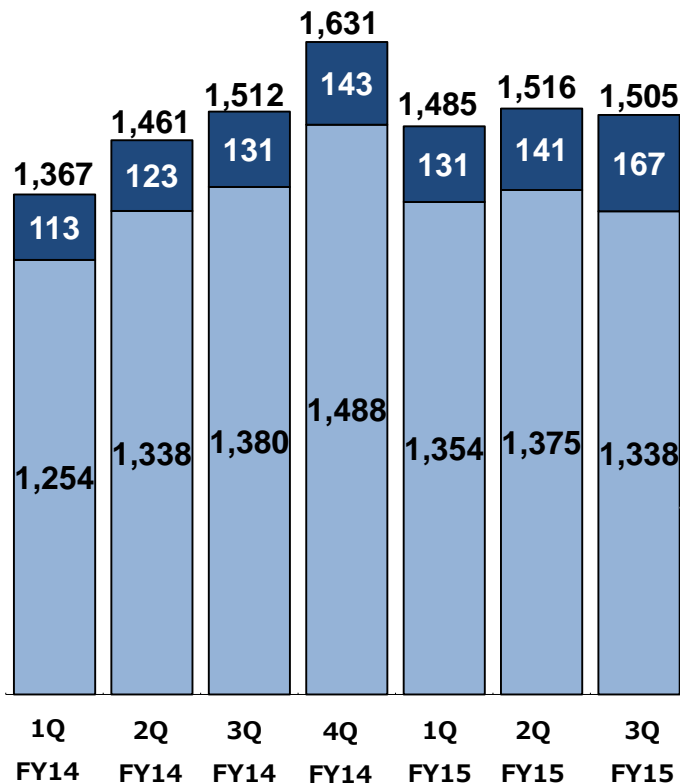
# 情報機器事業：オフィスサービス分野

## □ 3Q売上高：1,505億円（前年比 △0%）

- 価格競争に追随せず付加価値戦略を継続。為替影響もあり前年並みの売上高に留まる。
- ITサービスソリューション・OPS・GMAは欧米を中心に着実に増加。

売上構成四半期推移

【億円】



ITサービス  
ソリューション

オフィス  
プロダクト

売上高

**167億円**  
(前年比 +28%)

**1,338億円**  
(同 △3%)

**OPS 230億円**  
前年比+18%

**GMA 77億円**  
前年比+11%

3Q 概況

- ✓ 米国の教育機関において業務プロセスとコンテンツ管理を効率化する提案が評価されて契約を獲得。仏でも直販との販売シナジーが顕著化。
- ✓ 付加価値販売による「非価格競争軸」の確立を進める。

- ✓ 欧米でA3高セグカラー機の販売伸ばす。
- ✓ GMAでは欧州大手総合建設業での新規大型契約を獲得。

# 情報機器事業：商業・産業印刷分野

## □ 3Q売上高：564億円（前年比 +2%）

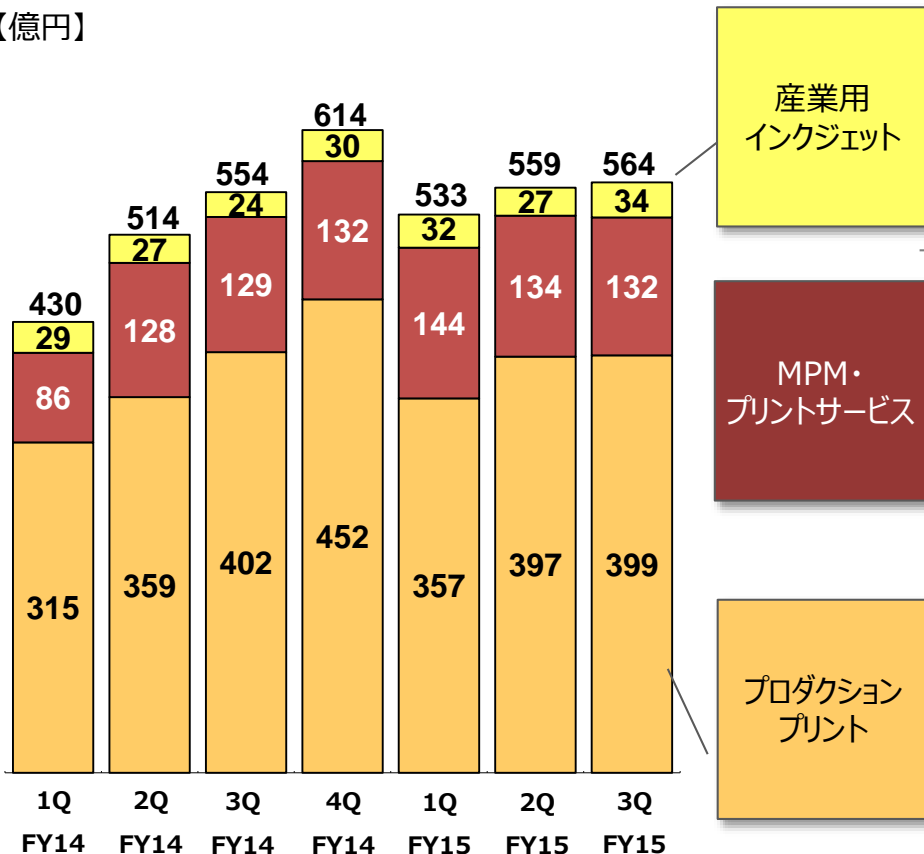
- カラー旗艦機「bizhub PRESS C1100シリーズ」が欧米を中心に好調を継続。
- MPM・プリントサービスはデジタル分野でのサービス契約獲得するなどビジネスフィールド拡大に貢献。

売上構成四半期推移

売上高

3Q 概況

【億円】



**34億円**  
(前年比 +42%)

**132億円**  
(前年比 +2%)

**399億円**  
(前年比 △1%)

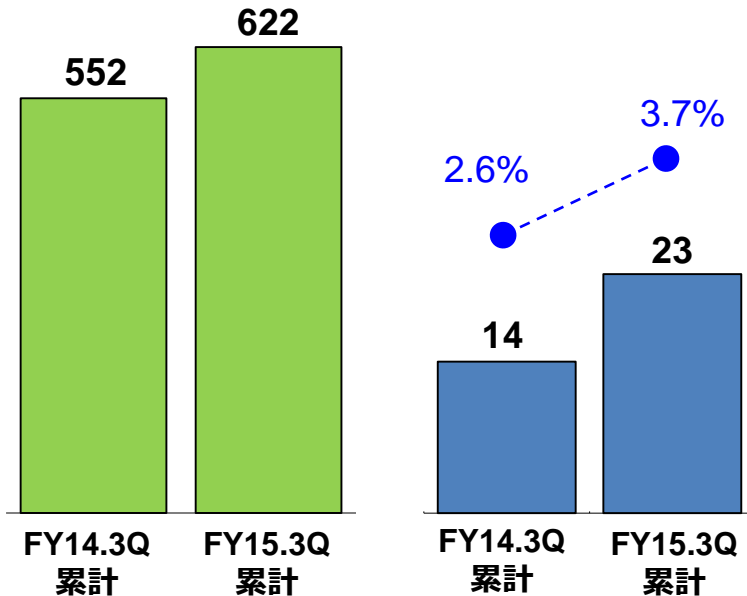
- ✓ コンポーネントは欧米中で好調継続。
- ✓ テキスタイルは新製品3機種をITMA（国際繊維機械展示会）に出展。欧州中心に商談を展開中。
- ✓ 世界有数の家庭用品メーカーにおいて、従来の印刷管理からデジタルコンテンツ資産管理へと既存契約範囲を拡大。
- ✓ 英国サッカー協会とクリエイティブサービス契約を締結。
- ✓ 「bizhub PRESS C1100シリーズ」が欧米を中心に好調継続。
- ✓ モノクロ機は前年同期に大口受注あり反動減。

# ヘルスケア事業総括：3Q累計

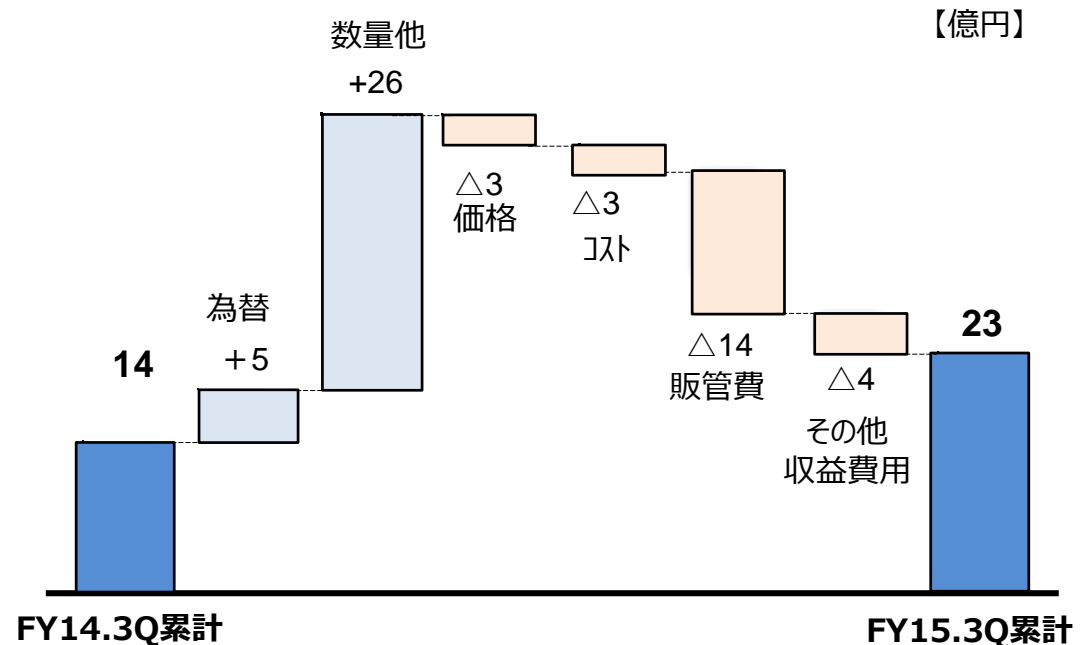
- **3Q累計売上高：622億円（前年比 +13%）**
  - デジタルを中心に国内向け販売が堅調、買収したViztekが3Qより加わり、2ケタ増収。
- **3Q累計営業利益：23億円（前年比 +58%）**
  - 主力デジタル製品の販売増。それら製品・機器の設置台数を基盤とした保守契約の件数増が収益性改善に貢献し、大幅な増益。

## 売上高/営業利益

左：売上高 右：営業利益 — 営業利益率 【億円】



## 営業利益 対前年増減分析

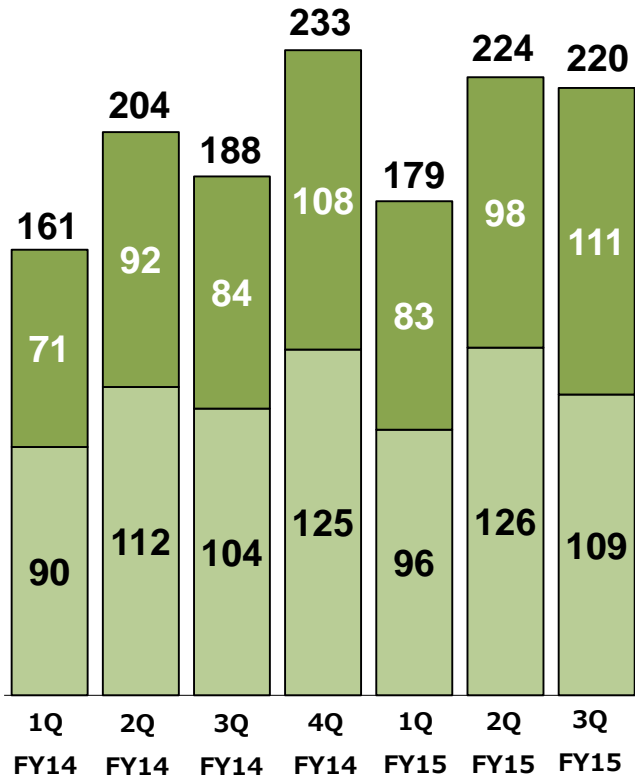


## □ 3Q 売上高： 220億円（前年比 +17%）

- 国内は超音波診断機器とPACSが大幅に伸長、DRは海外中心に販売を伸ばす。
- デジタル比率が50%を超え、デジタルシフトが順調に進捗。

売上構成四半期推移

【億円】



売上高

**111億円**  
(前年比 +32%)

デジタル

- ✓ 「AeroDR」が海外を中心に販売を拡大。
- ✓ 超音波画像診断装置「SONIMAGE HS-1」が整形領域で高い評価を得て国内大幅伸長。スポーツ選手の健康管理向けにも導入進む。
- ✓ 国内はPACSも好調。

**109億円**  
(前年比 +5%)

アナログ・その他

- ✓ 国内の仕入れ販売が堅調。

※ デジタル： X線撮影装置（DR,CR）、超音波画像診断装置、医療ITなど  
アナログ・その他： フィルム、イメージャー、仕入れ商材、など

# 産業用材料・機器事業総括：3Q累計

## □ 3Q累計売上高： 817億円（前年比 △6%）

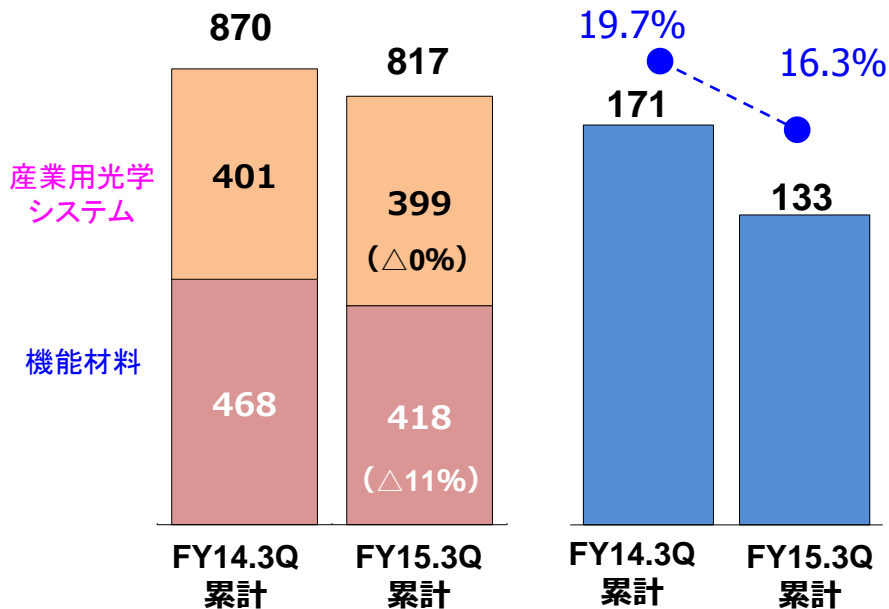
- 機能材料は、市況影響で減収となるが、産業用光学システムは概ね前年並みを確保。
- 計測機器はRadiant社買収効果、産業・プロ用レンズはプロジェクター向けが堅調。

## □ 3Q累計営業利益： 133億円（前年比 △22%）

- 機能材料は、販売減、価格影響を受けて減益。
- 産業用光学システムは、研究開発費や買収費用などにより減益。

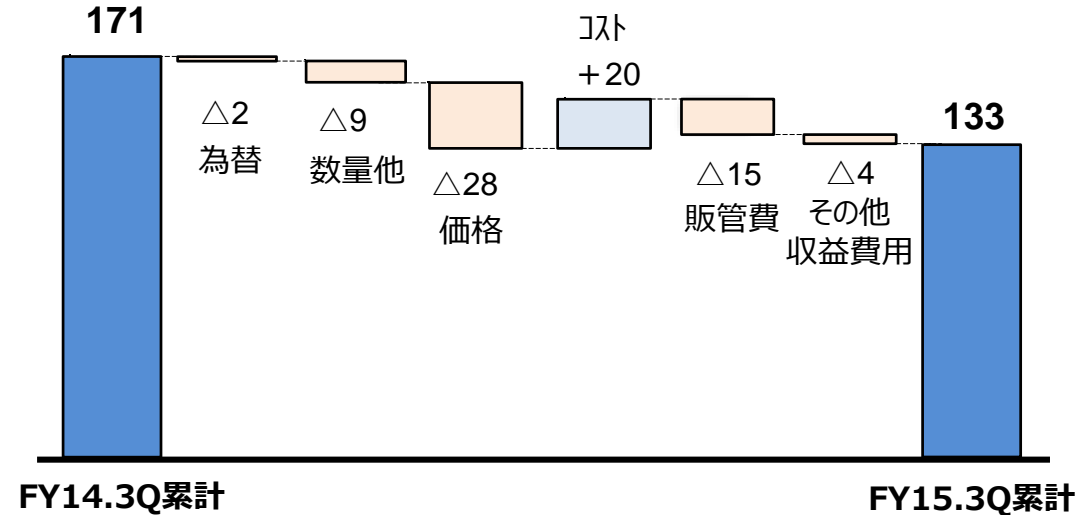
### 売上高/営業利益

左:売上高 右:営業利益 —営業利益率 【億円】



### 営業利益 対前年増減分析

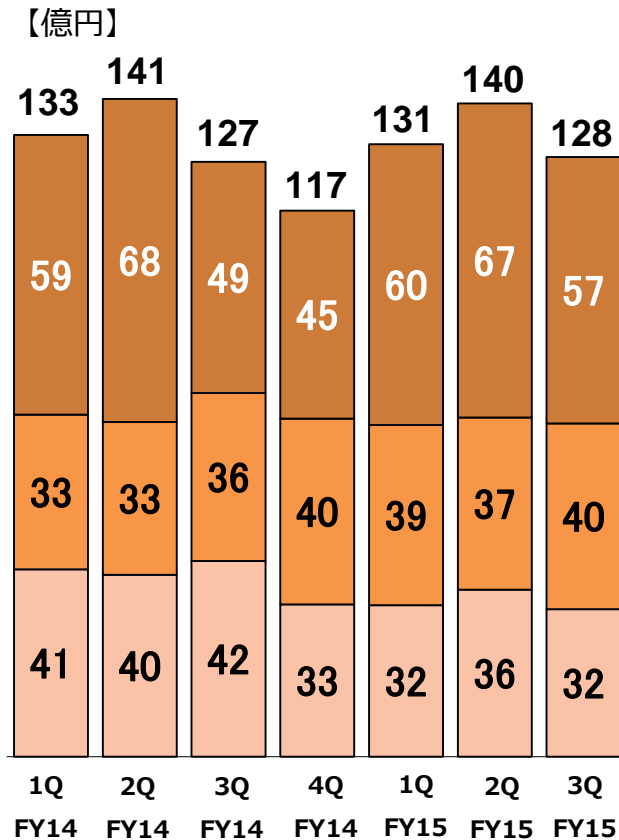
【億円】



## □ 3Q 売上高：128億円（前年比 + 1%）

- 成長分野の計測機器、産業・プロ用レンズは2ケタ増収。その他レンズの販売減をカバーして前年並みの売上。

売上構成四半期推移



売上高

**57億円**  
(前年比 + 15%)

計測機器

- ✓ Radiant社買収効果もあり増収。

**40億円**  
(前年比 + 11%)

産業・プロ用  
レンズ

- ✓ プロジェクター用レンズユニットが牽引、プロジェクションマッピングなどイベント用高輝度プロジェクター向けが好調。

**32億円**  
(前年比 △ 25%)

その他

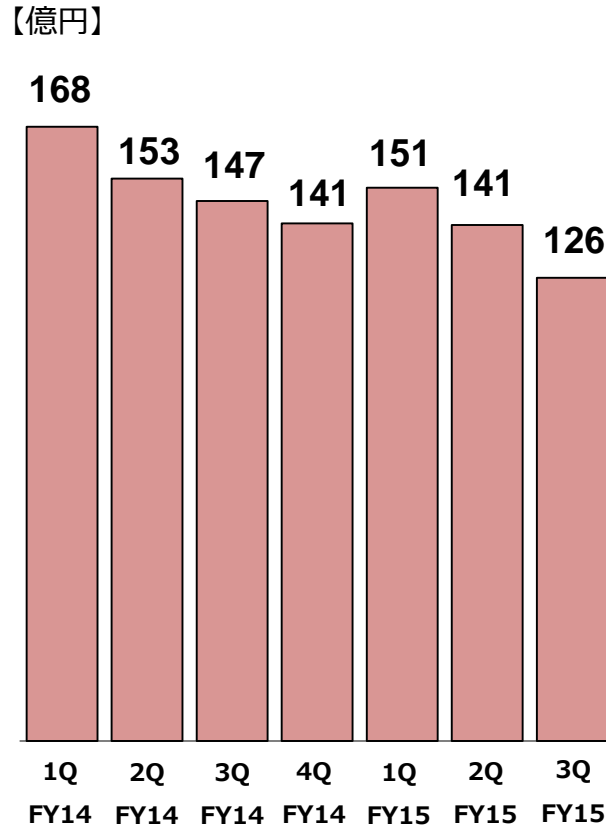
- ✓ コンパクトカメラレンズ、ピックアップレンズは需要減の影響を受け、販売減。

3Q 概況

## □ 3Q 売上高：126億円（前年比 △14%）

- 市場環境が厳しさを増し、大型液晶TV向けTACフィルムが減速。薄膜TACは2Qから回復するも、全体では減収。

売上高四半期推移



### ■ フラットパネルディスプレイ向け

- ・ 大型パネル用
- ・ 中小型パネル用

- ✓ 新興国等の経済環境悪化により、大型液晶TVの需要が減少。
- ✓ QWPフィルム量産工場は、4月の立ち上げに向けて予定通り進行中。

### ■ 新規領域

- ・ ウィンドウフィルム
- ・ バリアフィルム

- ✓ ウィンドウフィルムは、中東・ASEANでの販売を引き続き強化中。
- ✓ バリアフィルムはQD（量子ドット）TV向けに顧客認定取得に向けた最終段階に入る。

3Q 概況



KONICA MINOLTA

# 補足情報



# 2015年度(3Q) 全社業績要約

	15年度 3Q 累計	14年度 3Q 累計	YoY	15年度 3Q	14年度 3Q	YoY	【億円】
売上高	7,623	7,280	5%	2,551	2,536	1%	
売上総利益	3,669	3,579	3%	1,227	1,247	-2%	
(売上総利益率)	48.1%	49.2%	-	48.1%	49.2%	-	
営業利益	416	471	-12%	134	163	-18%	
(営業利益率)	5.5%	6.5%	-	5.2%	6.4%	-	
税引前利益	405	487	-17%	132	169	-22%	
(税引前利益率)	5.3%	6.7%	-	5.2%	6.7%	-	
親会社の所有者に帰属する当期利益	265	299	-11%	92	104	-12%	
(親会社の所有者に帰属する当期利益率)	3.5%	4.1%	-	3.6%	4.1%	-	
E P S (円)	53.32	58.97		18.49	20.82		
設備投資額	352	331		131	75		
減価償却費及び償却費	375	353		125	125		
研究開発費	568	551		187	187		
FCF	△ 464	273		△ 60	114		
投融資	515	158		88	36		
為替レート [円] USD	121.70	106.87	14.83	121.50	114.54	6.96	
euro	134.36	140.30	△ 5.94	132.95	143.07	△ 10.12	

# 2015年度業績予想 全社ハイライト

	2015年 10月29日公表		【億円】 YoY
	15年度 前回予想	14年度	
売上高	10,800	10,028	8%
営業利益	730	658	11%
(営業利益率)	6.8%	6.6%	
税前利益	710	655	8%
親会社の所有者に帰属する当期利益	470	409	15%
(親会社の所有者に帰属する当期利益率)	4.4%	4.1%	
EPS (円)	94.70	81.01	
ROE* (%)	9.5%	8.7%	
設備投資額	500		
減価償却費及び償却費	520		
研究開発費	800		
FCF (営業CF-投資CF)	△ 380	前回予想△250 を今回修正	
投融資	600		
	(4Q)		
為替レート [円]	USD	120.00	109.93
	euro	135.00	138.77

1円変動時の為替感応度 (年間)

	売上高	営業利益
USD	30億円	2億円
Euro	17億円	8億円

※欧州他通貨分考慮すると約10億円  
(営業利益)

ROE : 親会社の所有者に帰属する当期利益 / 資本金、資本剰余金、利益剰余金、自己株式の合計 (期首・期末平均)

# 2015年度業績予想 セグメント別売上高・営業利益

2015年  
10月29日公表

【億円】

売上高	15年度 前回予想		14年度		YoY
情報機器	8,750		8,082		8%
オフィスサービス	6,350		5,971		6%
商業・産業印刷	2,400		2,112		14%
ヘルスケア	850		786		8%
産業用材料・機器	1,200		1,128		6%
産業用光学システム	600		518		16%
機能材料	600		610		-2%
その他	-		32		-
グループ全体	10,800		10,028		8%

営業利益（右側：営業利益率）	15年度 前回予想		14年度		YoY
情報機器	810	9.3%	727	9.0%	11%
ヘルスケア	40	4.7%	21	2.7%	90%
産業用材料・機器	200	16.7%	197	17.5%	2%
コーポレート他・消去	△ 320	-	△ 288	-	-
グループ全体	730	6.8%	658	6.6%	11%

# 営業利益増減分析

## 9か月 前年同期比較 (15年度3Q累計 vs. 14年度3Q累計)

### [要因]

	情報機器	ヘルスケア	産業用 材料・機器	【億円】 合計
為替影響	△ 53	5	△ 2	△ 56
価格変動	△ 33	△ 3	△ 28	△ 63
数量増減他	88	26	△ 9	98
コストダウン	33	△ 3	20	50
販管費増減	△ 100	△ 14	△ 15	△ 127
その他 収益費用	73	△ 4	△ 4	43

### [営業利益]

増減額 (YoY)	8	8	△ 38	△ 55
-----------	---	---	------	------

## 直近3カ月 前年同期比較 (15年度3Q vs. 14年度3Q)

### [要因]

	情報機器	ヘルスケア	産業用 材料・機器	合計
為替影響	△ 35	△ 1	△ 0	△ 38
価格変動	△ 13	△ 1	△ 8	△ 22
数量増減他	32	18	1	51
コストダウン	△ 3	△ 1	4	0
販管費増減	△ 24	△ 9	△ 8	△ 41
その他 収益費用	17	0	△ 1	21

### [営業利益]

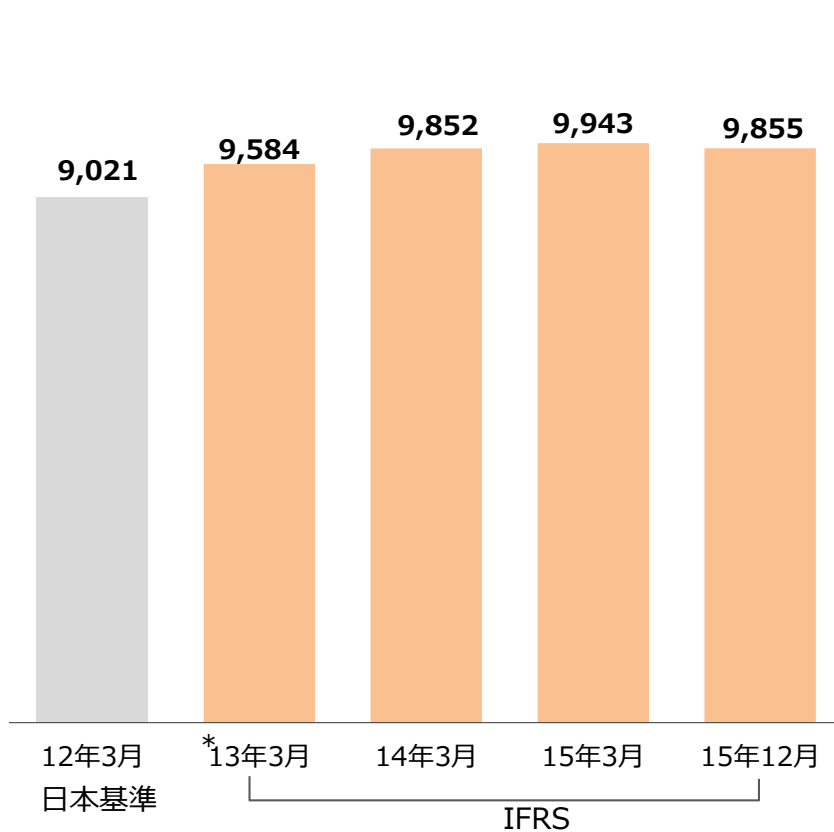
増減額 (YoY)	△ 27	6	△ 12	△ 29
-----------	------	---	------	------

# 販売管理費・その他の収益・費用及び金融収支明細

	[億円]					
	15年度 3Q累計	14年度 3Q累計	YoY	15年度 3Q	14年度 3Q	YoY
販売管理費						
販売変動費	368	365	3	120	125	△ 5
研究開発費	568	551	17	187	187	△ 0
人件費	1,481	1,364	117	503	481	23
その他	810	757	52	274	261	13
販売管理費 計	3,227	3,038	* 189	1,085	1,055	* 30
	*為替影響額： +63億円 (実質増減 +127億円)      △11億円 (実質増減 +41億円)					
その他の収益						
有形固定資産売却益	38	17	21	5	2	3
その他収益	22	25	△ 4	5	6	△ 1
その他の収益 計	60	43	17	10	7	3
その他の費用						
有形固定資産除売却損	12	9	3	1	3	△ 1
退職特別加算金	25	-	25	0	-	0
その他費用	49	104	△ 55	18	35	△ 17
その他の費用 計	86	113	△ 27	19	37	△ 18
金融収支						
受取利息・受取配当金-支払利息	△ 2	1	△ 3	0	△ 1	1
為替差損益	△ 7	15	△ 23	△ 2	8	△ 10
その他	△ 1	0	△ 1	△ 0	△ 0	△ 0
金融収支 計	△ 11	16	△ 27	△ 2	7	△ 9

# 財政状態計算書主要項目推移

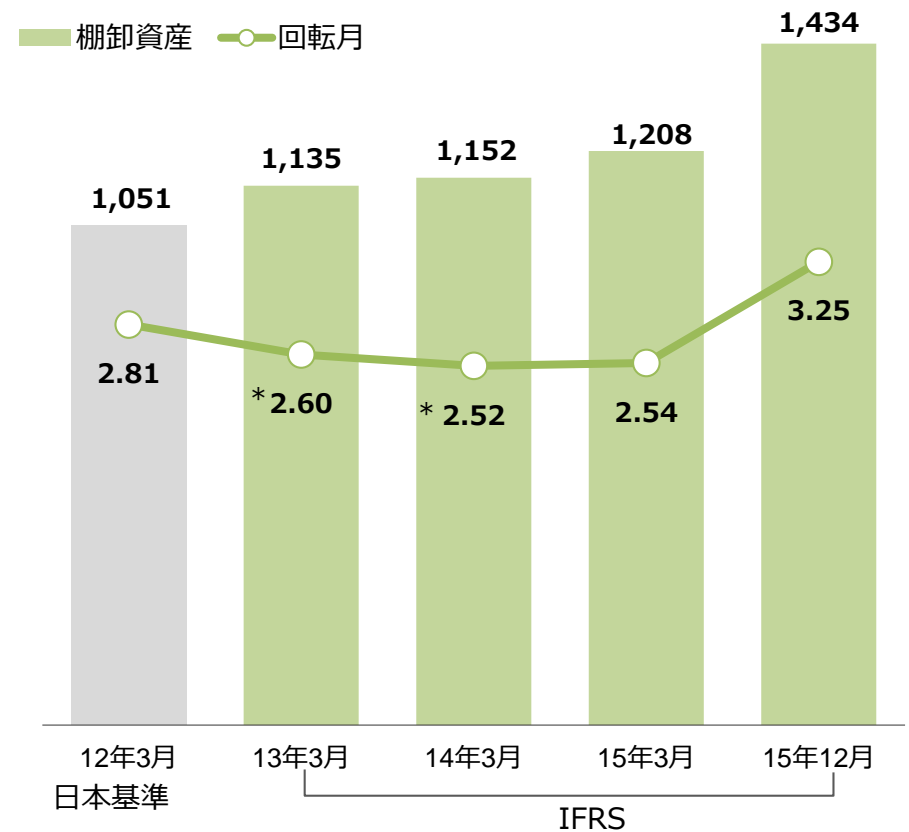
## 資産合計（総資産）



\* 13年3月=13年4月1日

## 棚卸資産・回転月

【億円】



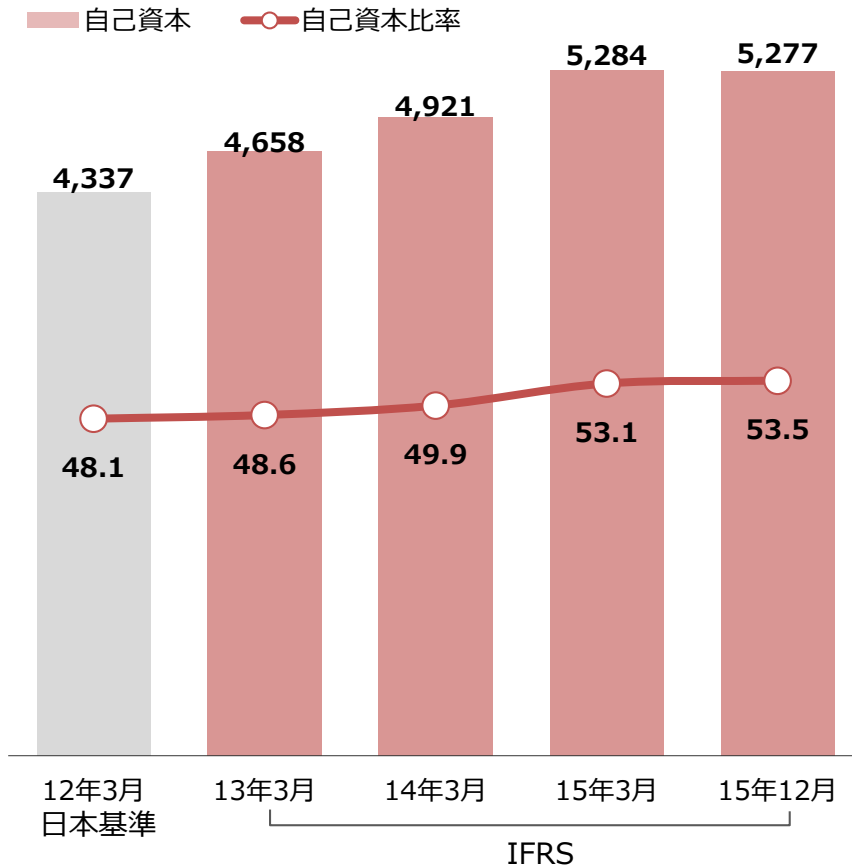
\* 棚卸資産回転月 = (当期末棚卸資産残高) / (直近3カ月の平均売上原価)

\* 13年3月/14年3月の回転月は日本会計基準

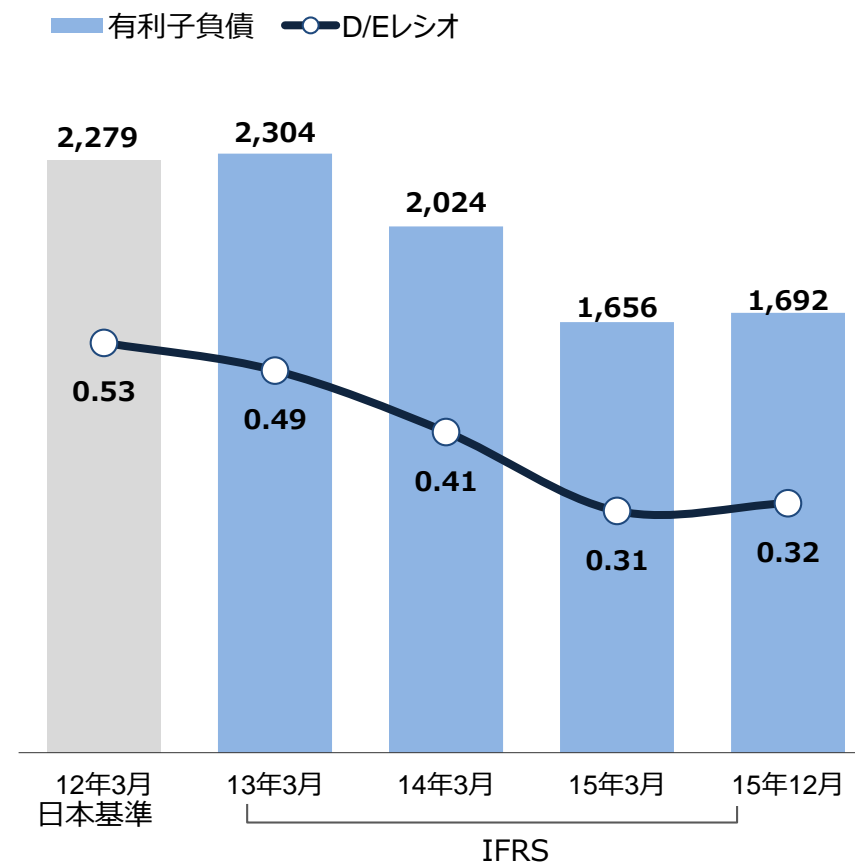
# 財政状態計算書主要項目推移

【億円】

## 自己資本・自己資本比率



## 有利子負債・D/Eレシオ



自己資本=親会社の所有者に帰属する持分

自己資本比率=親会社の所有者に帰属する持分/総資本

\* 13年3月=13年4月1日

Giving Shape to Ideas

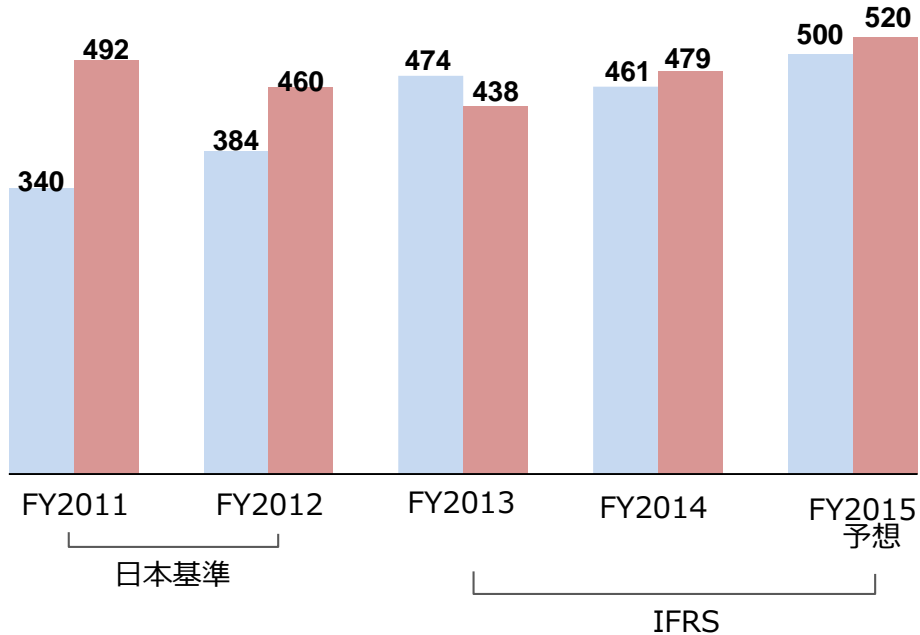
# 設備投資・減価償却費及び償却費/フリーキャッシュフロー

## 設備投資・減価償却費及び償却費

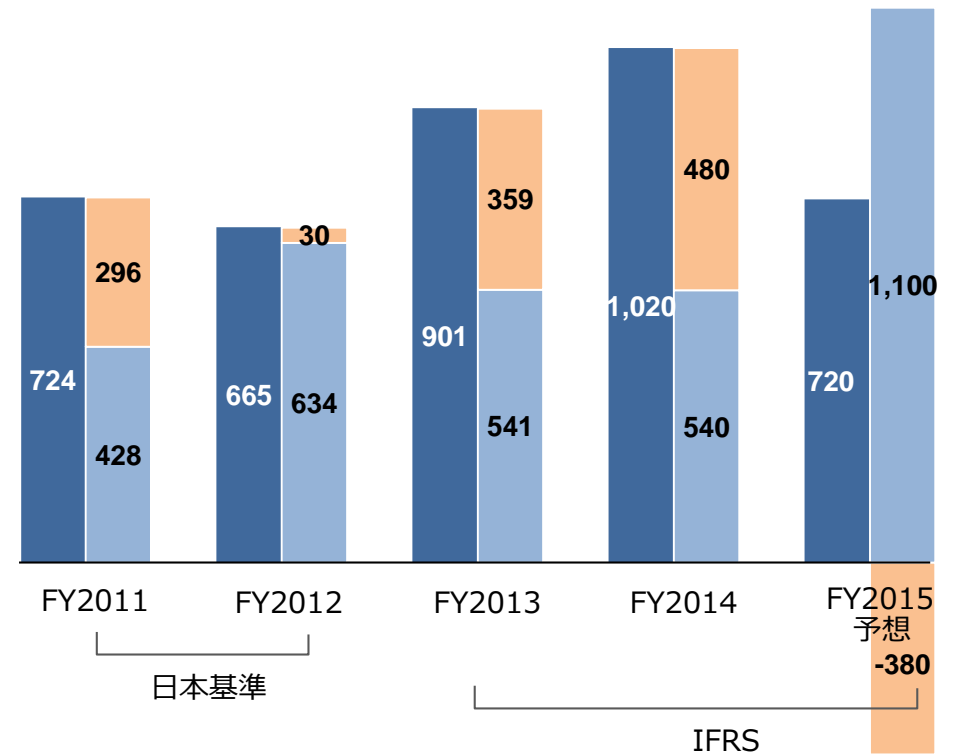
## フリーキャッシュフロー

【億円】

■ 設備投資 ■ 減価償却費及び償却費



■ 営業キャッシュフロー ■ 投資キャッシュフロー ■ フリーキャッシュフロー

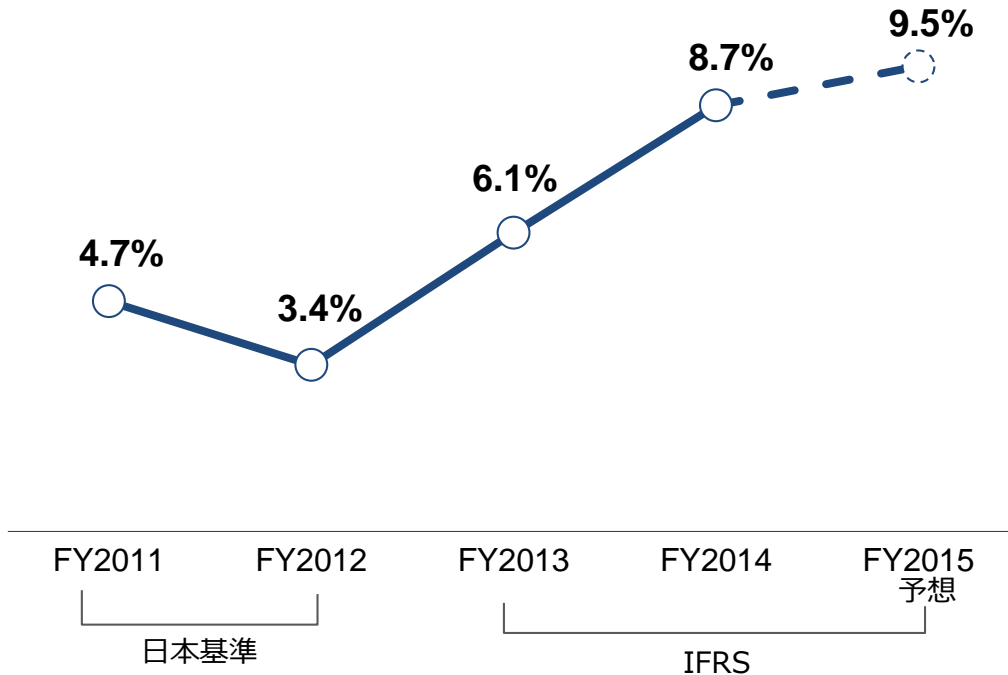




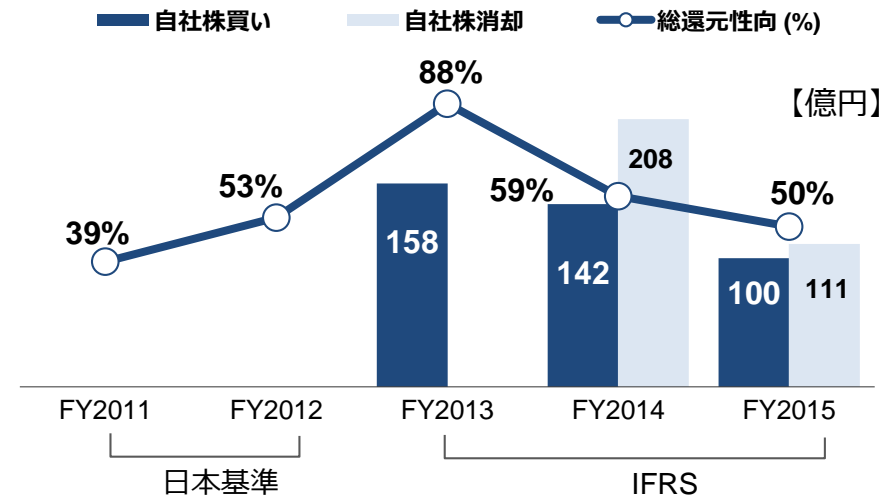
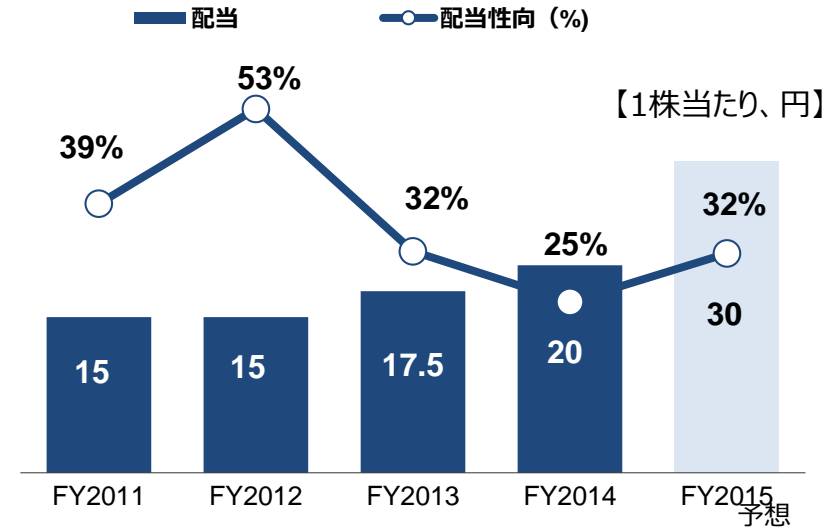
# ROE/株主還元（配当・配当性向・自社株買い）

## ROE

ROE：親会社の所有者に帰属する当期利益／資本金、資本剰余金、利益剰余金、自己株式の合計（期首・期末平均）



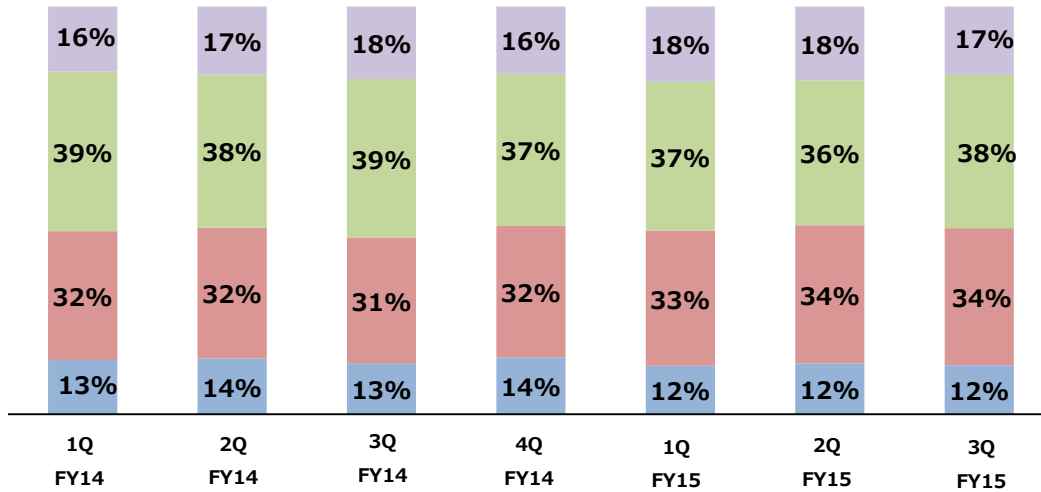
## 配当・配当性向・自社株買い



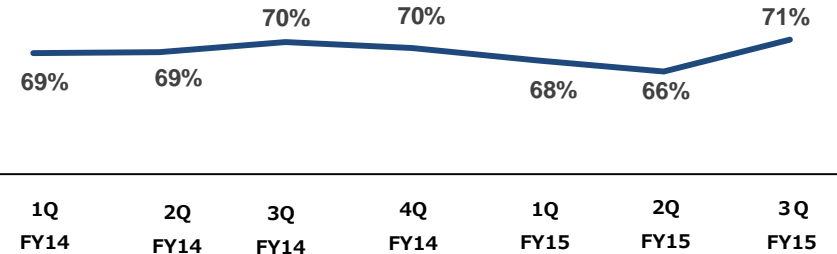
# 情報機器事業：販売状況（四半期推移）

## ■ 地域別売上高構成比（円貨ベース）

■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ その他

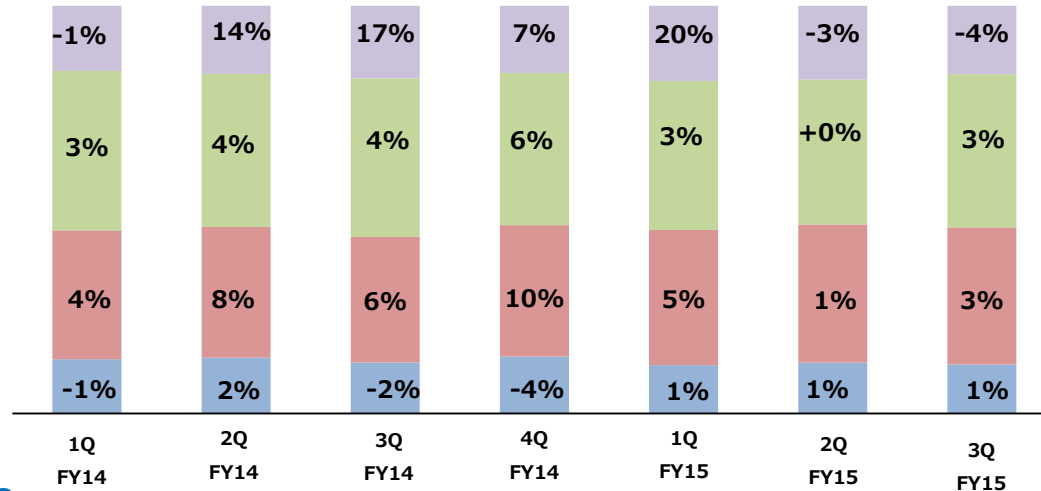


## ■ ハード売上に占めるカラー比率（オフィス）

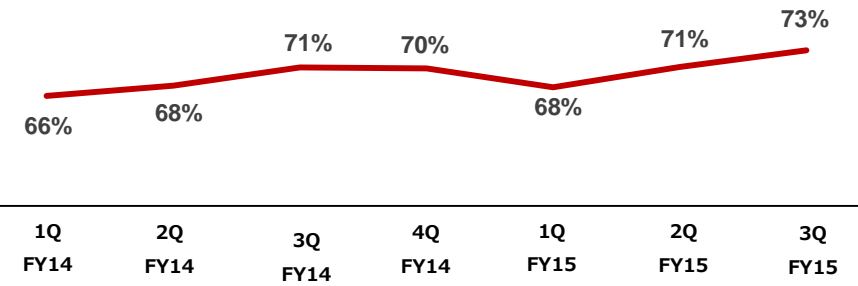


## ■ 地域別売上高増減（為替除く）

■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ その他



## ■ ハード売上に占めるカラー比率（PP）

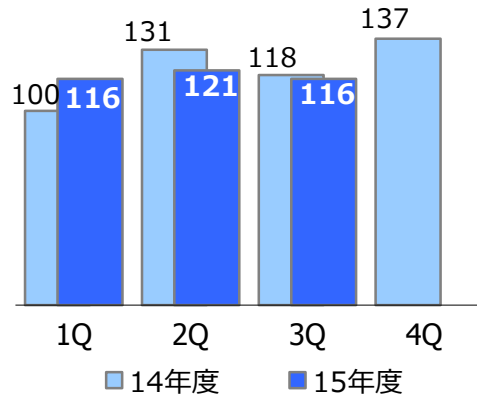


# 情報機器事業：主要製品販売状況（四半期推移）

## ■ A3カラーMFP 販売台数\*

YoY :  $\Delta$ 2%

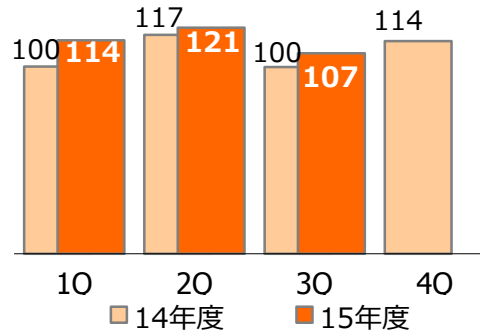
QoQ :  $\Delta$ 4%



## ■ A3モノクロMFP販売台数

YoY : +7%

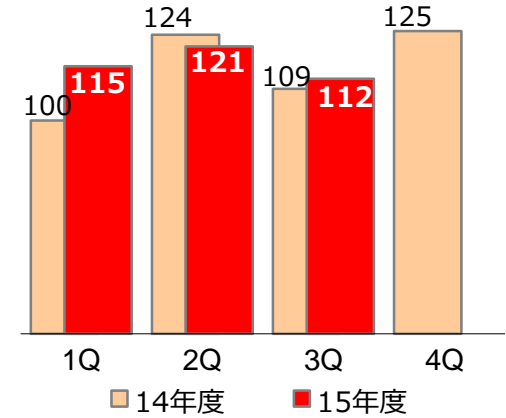
QoQ :  $\Delta$ 11%



## ■ A3トータル 販売台数\*

YoY : +3%

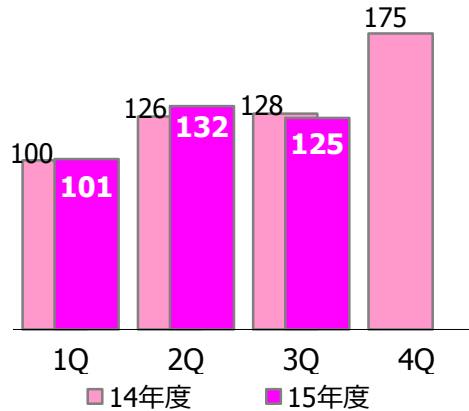
QoQ :  $\Delta$ 8%



## ■ カラープロダクションプリント 販売台数\*

YoY :  $\Delta$ 2%

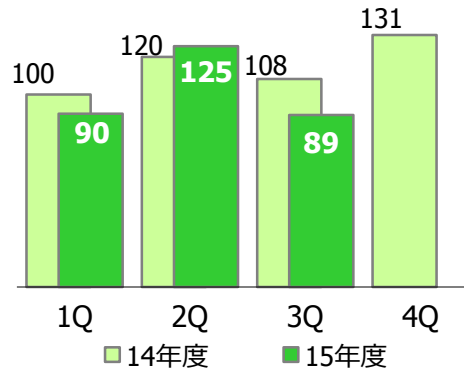
QoQ :  $\Delta$ 5%



## ■ モノクロプロダクションプリント販売台数

YoY :  $\Delta$ 17%

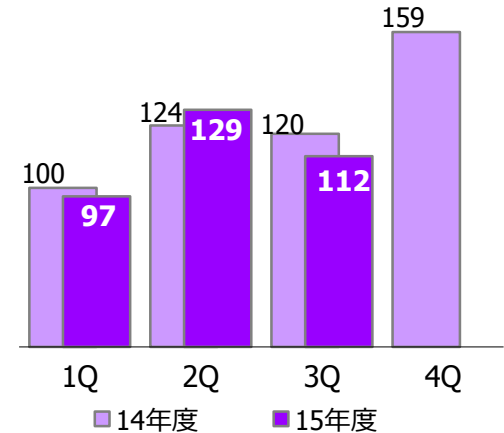
QoQ :  $\Delta$ 29%



## ■ プロダクションプリント トータル販売台数

YoY :  $\Delta$ 7%

QoQ :  $\Delta$ 14%



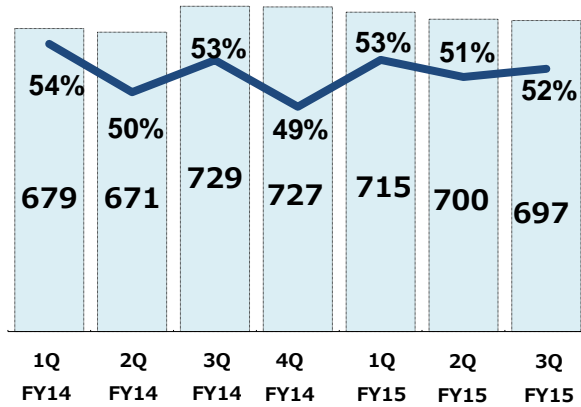
前方棒グラフ：2015年度実績 後方棒グラフ：2014年度実績

\* 2014年度1Qを100とした場合の指数

# 情報機器事業：ノンハード売上

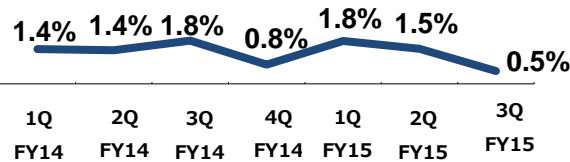
ノンハード売上高・ノンハード比率

## オフィスプロダクト



ノンハード売上高前年伸長率

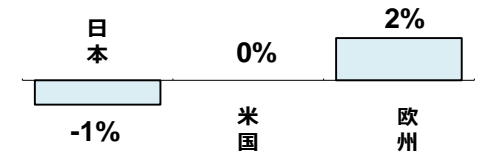
(為替影響除く)



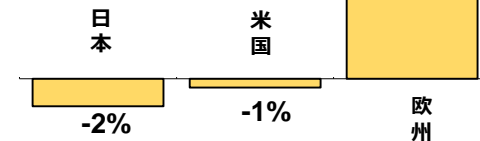
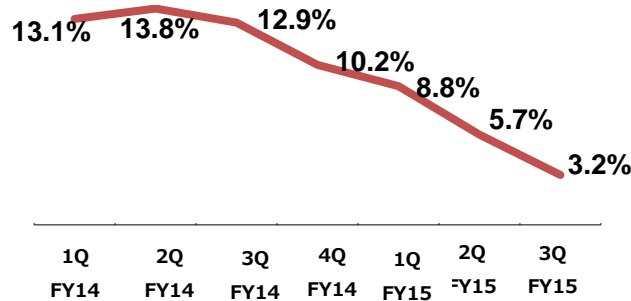
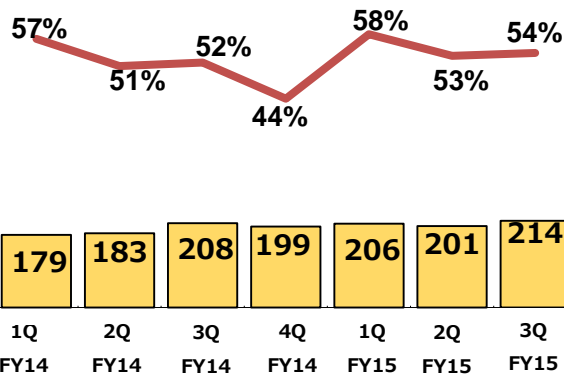
ノンハード売上高前年伸長率 (地域別)

【15年度3Q】

(為替影響除く)



## プロダクションプリント



【億円】

	14年度 1Q	14年度 2Q	14年度 上期	14年度 3Q	14年度 4Q	14年度 下期	14年度 TTL
売上高	2,266	2,478	4,745	2,536	2,747	5,283	10,028
売上総利益	1,129	1,203	2,332	1,247	1,318	2,565	4,897
（売上総利益率）	49.8%	48.6%	49.2%	49.2%	48.0%	48.5%	48.8%
営業利益	144	164	308	163	187	349	658
（営業利益率）	6.3%	6.6%	6.5%	6.4%	6.8%	6.6%	6.6%
税引前利益	145	173	318	169	168	337	655
（税引前利益率）	6.4%	7.0%	6.7%	6.7%	6.1%	6.4%	6.5%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	94	100	194	104	111	215	409
（親会社の所有者に帰属する四半期利益率）	4.1%	4.1%	4.1%	4.1%	4.0%	4.1%	4.1%

# 2014年度 セグメント別売上高・営業利益 IFRSベース

【億円】

売上高	14年度 1Q	14年度 2Q	14年度 上期	14年度 3Q	14年度 4Q	14年度 下期	14年度 TTL
情報機器	1,797	1,973	3,771	2,067	2,245	4,312	8,082
オフィスサービス	1,367	1,461	2,828	1,512	1,631	3,144	5,971
商業・産業印刷	430	513	943	554	614	1,168	2,112
ヘルスケア	161	204	365	188	233	421	786
産業用材料・機器	301	294	595	275	258	533	1,128
産業用光学システム	133	141	274	127	117	244	518
機能材料	168	153	321	147	141	289	610
その他	8	7	14	7	11	17	32
グループ全体	2,266	2,478	4,745	2,536	2,747	5,283	10,028

営業利益 (右側：営業利益率)	14年度 1Q	14年度 2Q	14年度 TLL	14年度 3Q	14年度 4Q	14年度 TLL	14年度 TLL
情報機器	129 7.2%	180 9.1%	309 8.2%	192 9.3%	226 10.1%	418 9.7%	727 9.0%
ヘルスケア	1 0.5%	11 5.6%	12 3.3%	2 1.2%	7 2.8%	9 2.1%	21 2.7%
産業用材料・機器	79 26.2%	52 17.7%	131 22.0%	40 14.7%	26 10.2%	67 12.5%	197 17.5%
コーポレート他・消去	△ 65	△ 79	△ 144	△ 72	△ 72	△ 144	△ 288
グループ全体	144 6.3%	164 6.6%	308 6.5%	163 6.4%	187 6.8%	349 6.6%	658 6.6%



● **情報機器事業** : **MIF/ Machines In the Field**

MFP（複合機）やプロダクションプリント機の市場における累積設置台数（稼働台数）を意味する。

● **情報機器事業** : **OPS/ Optimized Print Services**

当社のマネージド・プリント・サービス（MPS）の呼び名。お客様のプリント環境（出力・文書管理の環境）を最適化することで、コスト削減と効率性の向上を図るサービスを提供。

● **情報機器事業** : **GMA/ Global Major Account**

世界的規模の大手企業顧客（向けビジネス）のことをいう。

● **情報機器事業** : **MPM/ Marketing Print Management**

ブランドオーナーが製作する販促物のデザインから、印刷、発送、在庫管理までのサプライチェーンの最適化を目指すサービス。

● **ヘルスケア事業** : **DR/ Digital Radiography**

デジタルレントゲン、デジタルX線ともいう。

レントゲン撮影時に人体を透過したX線の強度分布を検出し、これをデジタル信号に変換してコンピューターによる処理を加えてデータ化する手法またはそのためのシステム。

● **ヘルスケア事業** : **PACS/ Picture Archiving and Communication System**

医療画像処理における画像保存通信システムのこと。DRやCR等のX線写真やCT、MRIなど大量の画像を管理するシステムの総称。

● **産業用材料・機器事業** : **ウインドウフィルム**

車や建築物の窓ガラスに貼り付ける機能性フィルム。当社製品ICE-μは、可視光と電磁波の高い透過性と遮熱性を両立する特長を有する。

# Giving Shape to Ideas



KONICA MINOLTA